

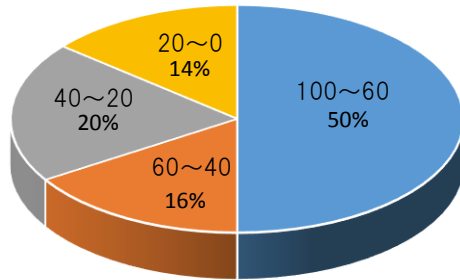
新温泉町橋梁点検結果の概要
(対象橋梁ごとの健全度把握に関する資料)



平成26年3月
新温泉町建設課

1. 点検結果の概要

○新温泉町が管理する橋梁311橋について橋梁点検を実施した結果の状況は下記のとおりです。



<点検結果の損傷状況> ()内は健全度
○特に大きな損傷はない(100~60)
⇒約50%
○小さな損傷がある(60~40)
⇒約16%
○損傷がある(40~20)
⇒約20%
○修繕の検討を要する損傷がある(20~0)
⇒約14%

<点検結果の概要>

- ・鋼桁、コンクリート桁、PC桁、RC桁、床版の健全度は大半が40点以上でした。
- ・鋼桁の損傷内容は主に腐食となっています。
- ・コンクリート桁の損傷内容は主にひび割れ、遊離石灰、鉄筋露出となっています。
- ・健全度が20点未満の橋梁についてはコンクリート桁のひび割れ、主桁の腐食、支承の劣化・損傷が確認され、早期に修繕検討を要する結果となっています。

損傷の事例



主桁にひび割れが見られます



支承が損傷しています



床版に遊離石灰が見られます



主桁の鉄筋が露出しています

2. 健全度の考え方

○健全度の評価対象とする部材

健全度は定期点検データの一部を利用し算出します。長寿命化修繕計画のために健全度評価を行う対象部材は、下記の部材としています。

主桁・横桁・縦桁・床版・支承

○健全度の算出方式

健全度は100点満点の点数で表現します。点検結果を点数化した損傷度を算定し、100点から損傷度を差し引いた点数を健全度としています。

健全度 = 100 - 損傷度

○損傷度の算出

損傷度は各評価対象部材の点検結果の判定（a～e等）を点数化し、同一部材での点数を加重平均して算定しています。

<例>

たとえば床版の損傷判定が全てbの場合、
損傷度は20点となります。

その部材の健全度は
 $100 - 20 = 80$ 点

損傷 小



損傷 大

損傷判定区分	損傷点
a	0
b	20
c	50
d	70
e	90

3. 健全度と対策

○算定した健全度により適切な対策を行います。

【健全度と対策状況】

健全度	対策状況	対策例
100～60	特に大きな損傷はない。 計画的な予防対策を行う時期です。	・防水層設置 ・保護塗装工等
60～40	小さな損傷がある。 低コストでの対策が可能な時期です。	・ひび割れ注入 ・再塗装等
40～20	損傷がある。 本格的な補修対策が必要な時期です。	・鋼版接着工等
20～0	修繕の検討を要する損傷がある。 大規模な補修や架替えの検討が必要です。	・床版打替工等

※ 対策はあくまで目安であり、対策を実施する時期や内容については、各橋梁の重要度や構造等を考慮し、適切な時期と対策を長寿命化修繕計画において検討します。

4. 担当部署

○新温泉町 建設課 地域整備係

TEL : 0796-82-3115